

## 県内で牛のヨーネ病発生

10月に、県内北東部の牛の定期検査で、ヨーネ病が2件摘発されています。農場での発生を防ぐため、以下のことに気を付けましょう。

### 【ヨーネ病】

牛、めん羊、山羊等の反すう動物に、慢性の頑固な下痢や乳量の低下、削瘦などの症状が出る病気です。

子牛が哺乳期にヨーネ菌に汚染された環境を舐めるなどして感染し、長い潜伏期間(6か月～数年)を経て発症します。

感染した牛は発症する前から糞便中に排菌し、同居牛への感染源となります。

ワクチンや治療薬はなく、発生した場合は法律に基づき殺処分となります。

### 次のことに気を付けましょう！

- ❑ 牛を導入する際は、導入元農場がヨーネ病陰性の農場であることを必ず確認！
- ❑ 牛舎内を清潔に！ (特に、牛床、飼槽、ウォーターカップは念入りに清掃、洗浄消毒)
- ❑ 農場専用の衣服、靴を使用
- ❑ 畜舎入口での専用靴への交換、靴の消毒
- ❑ 農場の整理整頓、消毒(消石灰散布など)
- ❑ まめに健康観察